

---

# エリート

天窪 雪路

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

エリート

### 【Nコード】

N8662P

### 【作者名】

天窪 雪路

### 【あらすじ】

人間臭さを演出することも何もかも、彼の計算のうちなのである。しかし、それは凡人には分からぬことなのだ。

彼は期待される人物であった。

周囲がその周囲の二手、三手先を読んで満足しているところで、彼はさらにその倍も先を読むことができた。第6感というのが実在する能力であることは、彼の生き方が証明してくれた。

しかし、彼は組織の中でその毛色を如何なく発揮する、ということはない。周囲と同じように行動し、彼の能力のひとまわりも、ふたまわりも小さな仕事をして過ごしている。無論、彼の頭脳に収まる未来図は凡人が彼を表面的に見るだけでは想像だにできないほど魅力的なそれである。

彼は機会をうかがっているのだ。余りにも早く爪を披露すると、周囲は彼を警戒し、必要のない距離をつくることになる。しかし、爪を出すのが遅すぎると、獲物の彼に抱く畏怖の念が薄れ、いざ訪れた狩りのタイミングには手を焼くことになる。

もつとも、それはある種副産物的理由であって、彼がありふれた人生を演じ続けているのは、彼がそうしたいからなのである。彼は彼の退屈な生活を自らの意志でその人生の一部としているのだ。

周囲は言う。

「なぜ、彼ほどの人物がああいう生活で甘んじているのか」

「彼は彼と同じ階級の者たちよりも、一階級か二階級か上の仕事を任され、

また、そのように振る舞っている。それでいて負うべき責任はその

職責通りだといふのだから卑怯なものだよ」

しかし、それも彼の計算のうちである。人間臭さを演出することも何もかも、彼の計算のうちなのである。しかし、それは凡人には分からぬことなのだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8662p/>

---

エリート

2011年1月16日02時09分発行